

**新潟スワンエナジー 地域の再エネ電源を創出
～自家消費型太陽光発電と清掃工場での小水力発電事業を実施～**

新潟スワンエナジー株式会社（社長：小林厚、本社：新潟県新潟市）※¹は、新潟市（市長：中原八一）と連携し、公共施設における新たなエネルギーサービスとして「自家消費型太陽光発電第三者保有モデル（以下、太陽光発電PPAモデル）」、「清掃工場の機器冷却水を活用した小水力発電事業」を実施いたします。

「太陽光発電PPAモデル」とは、第三者が需要家の敷地や屋根などを借用して太陽光発電システムを設置し、発電した電力を長期にわたり需要家に販売するモデルで、需要家は初期投資ゼロで再生可能エネルギー由来の電力を使い、かつ電気代を削減することができます。第一号案件として新潟市中央卸売市場※²に設置、2021年2月より発電開始予定で、年間発電量30.7万ワット時（CO₂削減効果：146t/毎年）を想定しています。

本事業は、環境省及び経済産業省の連携補助事業である「サプライチェーン改革・生産拠点の国内回帰も踏まえた脱炭素社会への転換支援事業」に応募し、採択されたもので、同モデルによる発電事業は、県内自治体公共施設では初めてとなります。

「清掃工場の機器冷却水を活用した小水力発電事業」は、新潟スワンエナジーの主要調達電源である新潟市新田清掃センターにて実施いたします。※³

機器冷却水とは、施設稼働中に高温になる焼却炉などの施設やタービン発電機を冷やすために循環するものです。今回発電機を設置することで、機器冷却塔から流れる機器冷却水の落差を利用して発電することができます。2021年3月頃より発電開始予定で、年間発電量は6.5万キロワット時（CO₂削減効果：31t/毎年）を想定し、本施設から発電される電力は、市内公共施設に供給いたします。

今回の新たなエネルギーサービスは、未利用エネルギーを有効活用することを通じて再生可能エネルギー電源の創出に資するものです。新潟スワンエナジーは、地産の再エネ電源を自治体公共施設・地元民間企業に供給する、地域に根差したエネルギー供給事業者を目指しています。今後も、積極的に

地域の再生可能エネルギー発電所の電気を調達、創出することを通じて、地産電源比率の向上および地域の再エネ電源主力化を実現してまいります。

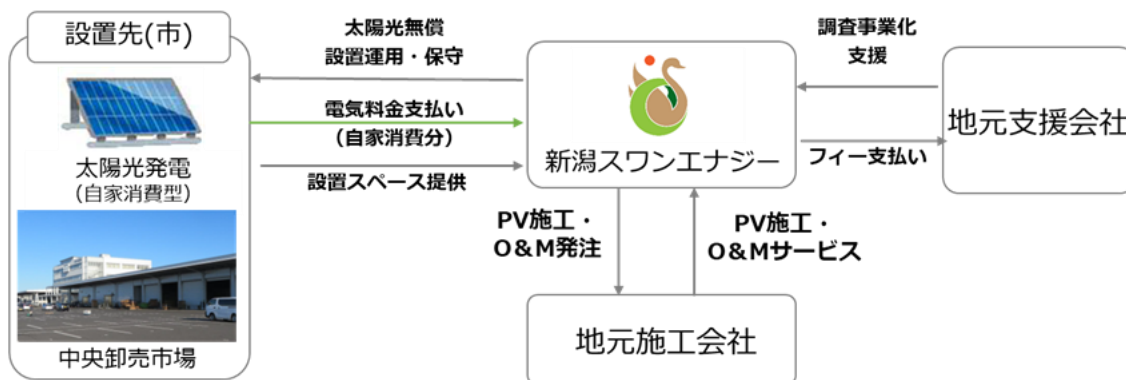
※1 会社概要

(1) 名称	新潟スワンエナジー株式会社	
(2) 所在地	新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号	
(3) 代表者	小林 厚	
(4) 事業内容	再生可能エネルギーによる電力供給事業、 再生可能エネルギー・蓄電池等を活用したエネルギーサービス事業	
(5) 資本金	5,000万円	
(6) 設立年月日	2019年7月17日	
(7) 出資者	JFEエンジニアリング(株)	85%
	新潟市	10%
	(株)第四銀行	5%

※2 太陽光発電システム PPA モデル事業

(1) 設置場所	新潟市中央卸売市場
(2) 発電容量(定格)	247.5kW
(3) 設置完了予定	2021年2月

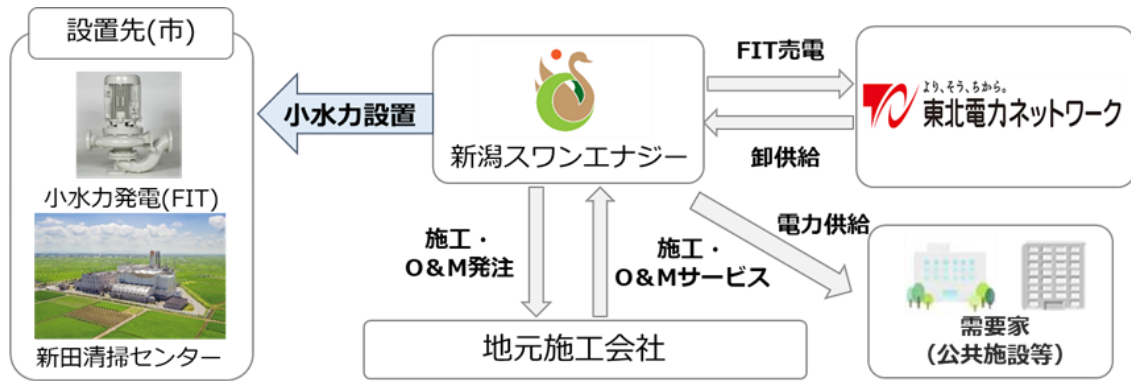
■事業スキーム



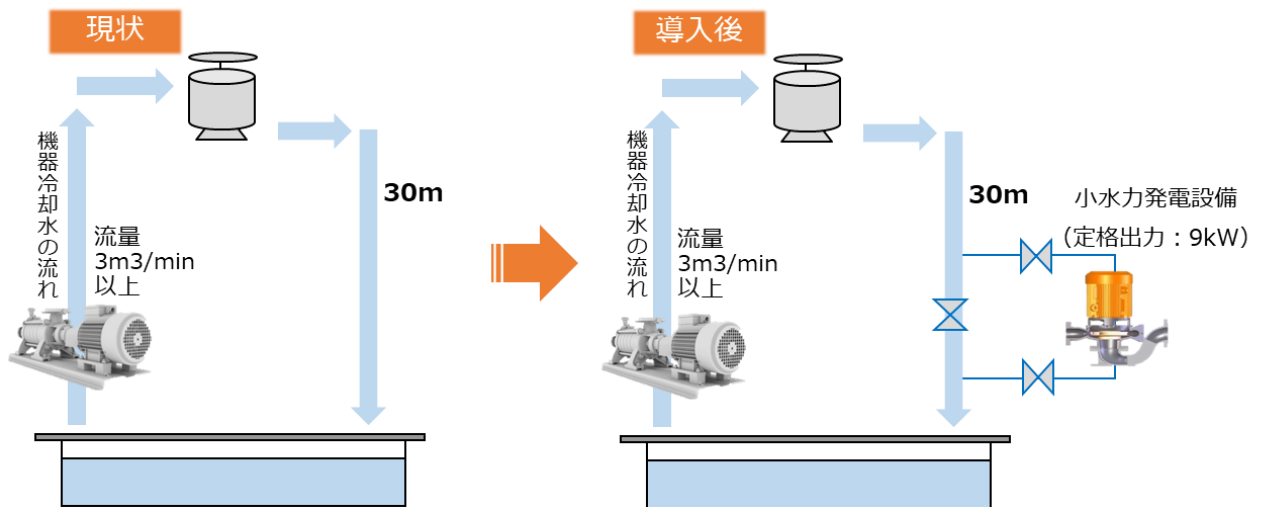
※3 機器冷却水利用型小水力発電事業

(1) 設置場所	新潟市新田清掃センター
(2) 発電容量(定格)	9kW
(3) 設置完了予定	2021年2月

■事業スキーム



■発電機設置イメージ



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
 新潟スワンエナジー株式会社 Tel.025-247-6860